

平成22年上半期のサイバー犯罪の検挙状況等について

1 サイバー犯罪の検挙状況

平成22年上半期のサイバー犯罪の検挙件数は2,585件（前年同期比－1,285件、－33.2%）。[1頁]

(1) 不正アクセス禁止法違反

不正アクセス禁止法違反は85件（前年同期比－1,880件、－95.7%）。

※ 平成21年上半期の検挙件数が多かったのは、犯行グループ（15人）による組織的なオークション詐欺事件における不正アクセス禁止法違反が1,813件にも及んだことが要因。

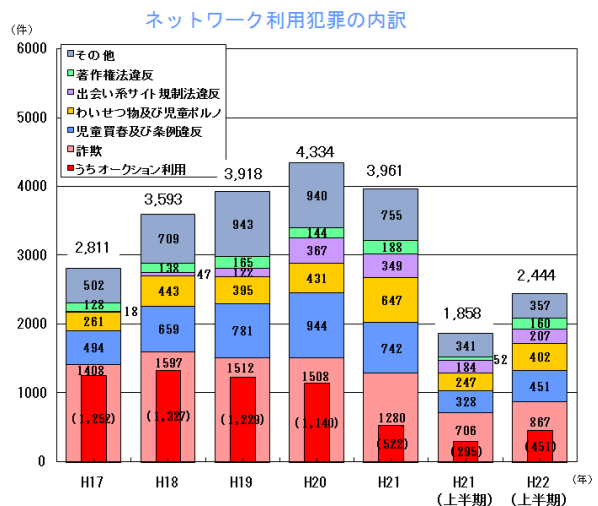
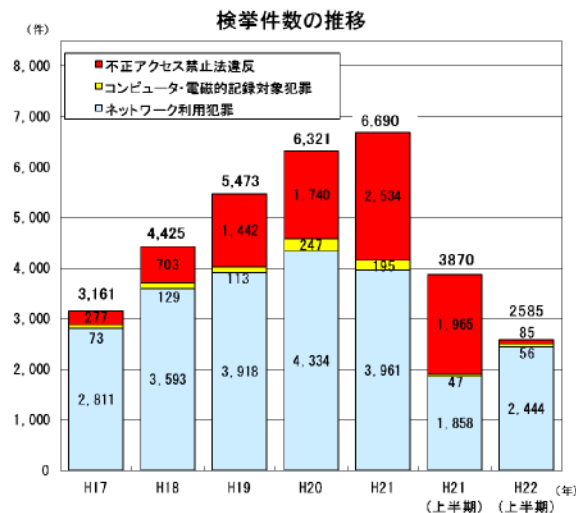
(2) コンピュータ・電磁的記録対象犯罪

コンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪は56件（前年同期比＋9件、＋19.1%）。

(3) ネットワーク利用犯罪

ネットワーク利用犯罪は2,444件（前年同期比＋586件、＋31.5%）。

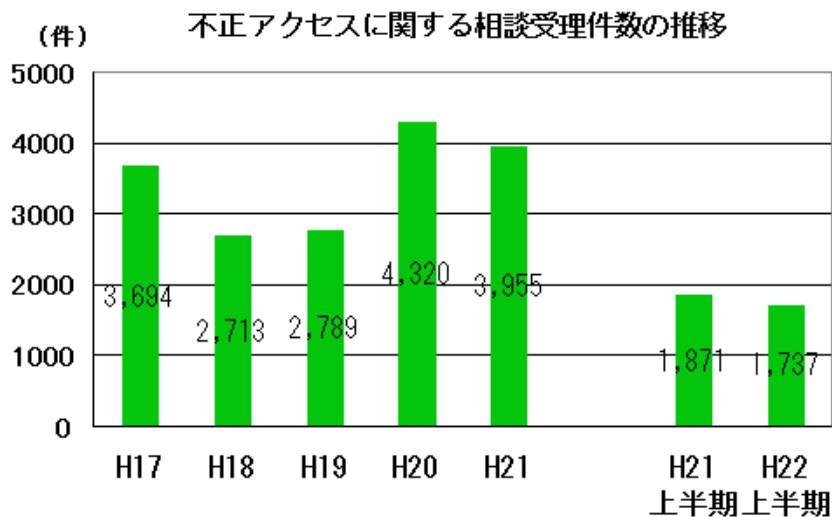
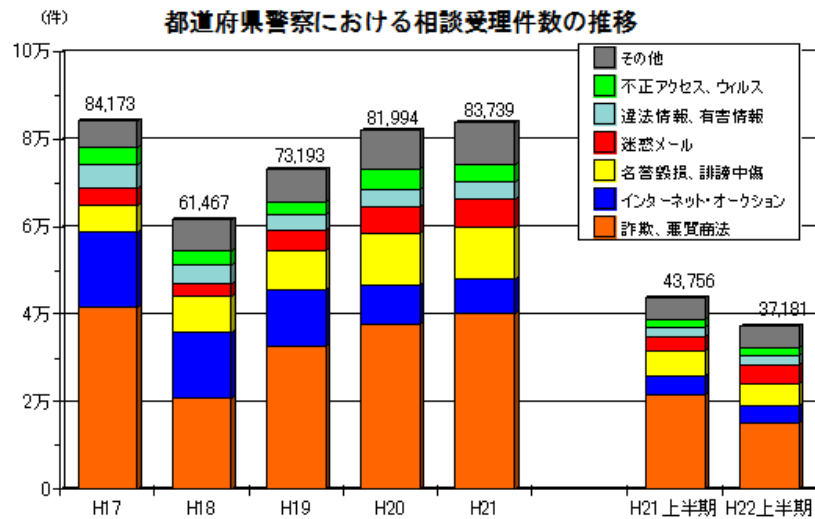
- ネットワーク利用詐欺は867件（＋161件、＋22.8%）。  
 インターネット・オークション利用詐欺は451件（＋156件、＋52.9%）。
- 児童買春及び青少年保護育成条例違反は451件（＋123件、＋37.5%）。
- わいせつ物頒布等及び児童ポルノ事犯は402件（＋155件、＋62.8%）。  
 児童ポルノ事犯は329件（＋135件、＋69.6%）。
- 出会い系サイト規制法違反は207件（＋23件、＋12.5%）。
- 著作権法違反は160件（＋108件、＋207.7%）。



## 2 サイバー犯罪等に関する相談状況

平成22年上半期に都道府県警察の相談窓口で受理したサイバー犯罪等に関する相談件数は37,181件（前年同期比－6,575件、－15.0%）。 [4頁]

- 詐欺・悪質商法に関する相談は15,214件（－6,519件、－30.0%）。
- インターネット・オークションに関する相談は3,724件（－356件、－8.7%）。
- 迷惑メールに関する相談は4,364件（＋1,021件、＋30.5%）。
- 不正アクセス、ウイルスに関する相談は1,897件（－100件、－5.0%）。



- 特異な相談事例（ガンブラーに関するもの）

平成21年12月から平成22年1月にかけて、警察に対する相談等により、大手企業等多数のガンブラーによる被害が確認された。

### 3 対策

#### (1) 取締りの強化

- 都道府県警察における取締体制及び取締能力の強化等により、サイバー犯罪の取締りを強化する。
- フィッシング、ファイル共有ソフト等新たな手口に対応した効果的な取締り手法の研究と、それをもとにした検挙を推進する。

#### (2) 違法情報対策の推進

- インターネット上の違法情報を把握し、児童ポルノなど悪質事犯に重点を指向した取締りと被害防止対策を推進する。
- 違法情報の投稿者だけでなく、違法情報の投稿、書き込みを認識しながらそのまま放置している掲示板管理者の刑事責任の追及をも視野に入れた捜査を行う。

#### (3) 相談に対する的確な対応

- 最近のサイバー犯罪等に関する相談受理状況を分析し、警察庁ホームページ内の「インターネット安全・安心相談」の充実を図るなど、被害防止の観点から国民に注意喚起を行う。



#### ※「インターネット安全・安心相談」

URL <http://www.npa.go.jp/cybersafety/>

警察庁では、インターネットに関する相談事例に応じて、その対応策等を回答するウェブサイト「インターネット安全・安心相談」を開設。

# 平成22年上半期のサイバー犯罪の検挙及び相談状況について

## 第1 サイバー犯罪の検挙状況

### 1 検挙件数

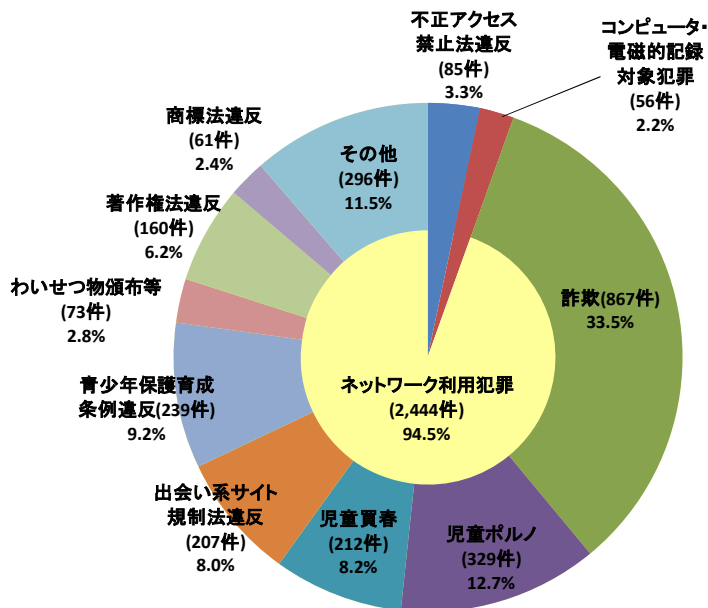
罪名	年						H22 (上)	前年比増減	
	H17	H18	H19	H20	H21	H21 (上)			
不正アクセス禁止法違反	277	703	1,442	1,740	2,534	1,965	85	- 1,880	(- 95.7%)
コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	73	129	113	247	195	47	56	+ 9	(+ 19.1%)
電子計算機使用詐欺	49	63	74	220	169	39	37	- 2	(- 5.1%)
電磁的記録不正作出・毀棄等	17	56	34	20	22	5	15	+ 10	(+ 200.0%)
電子計算機損壊等業務妨害	7	10	5	7	4	3	4	+ 1	(+ 33.3%)
ネットワーク利用犯罪	2,811	3,593	3,918	4,334	3,961	1,858	2,444	+ 586	(+ 31.5%)
詐欺	1,408	1,597	1,512	1,508	1,280	706	867	+ 161	(+ 22.8%)
うちオークション利用詐欺	1,252	1,327	1,229	1,140	522	295	451	+ 156	(+ 52.9%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童ポルノ)	136	251	192	254	507	194	329	+ 135	(+ 69.6%)
児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春)	320	463	551	507	416	174	212	+ 38	(+ 21.8%)
出会い系サイト規制法違反	18	47	122	367	349	184	207	+ 23	(+ 12.5%)
青少年保護育成条例違反	174	196	230	437	326	154	239	+ 85	(+ 55.2%)
わいせつ物頒布等	125	192	203	177	140	53	73	+ 20	(+ 37.7%)
著作権法違反	128	138	165	144	188	52	160	+ 108	(+ 207.7%)
その他	109	218	191	192	126	42	61	+ 19	(+ 45.2%)
商標法違反	109	218	191	192	126	42	61	+ 19	(+ 45.2%)
上記以外	393	491	752	748	629	299	296	- 3	(- 1.0%)
合計	3,161	4,425	5,473	6,321	6,690	3,870	2,585	- 1,285	(- 33.2%)

※ その他には、名誉毀損、脅迫、覚せい剤取締法違反等の薬物事犯、売春防止法、児童福祉法、犯罪収益移転防止法、薬事法等の違反がある。

※ ネットワーク利用犯罪の定義

犯罪の構成要件に該当する行為についてネットワークを利用した犯罪、又は構成要件該当行為でないものの、犯罪の実行に必要不可欠な手段としてネットワークを利用した犯罪をいう。例えば、児童買春及び青少年保護育成条例違反については、ネットワーク上で連絡を取り合った者同士がネットワーク上において性交等に合意している場合に限って計上している。

### 2 サイバー犯罪の罪名別割合



### 3 平成22年上半期の主なサイバー犯罪検挙事例

#### 【不正アクセス禁止法違反、詐欺】

被疑者（会社役員・男・33歳）らは、フィッシングサイトを利用して入手したユーザID・パスワードを使用して大手SNSサイトに不正にアクセスし、他のユーザになりすまして、被害者らを実際には異性会員との電子メールの送受信ができない出会い系サイトに誘導した。

また、架空の女性会員になりすまし電子メールの送受信を繰り返し行うことによりサイトの利用料金を支払わせた。詐欺罪でも検挙。

（1月・警視庁、宮城）

#### 【不正アクセス禁止法違反】

被疑者（会社役員・男・52歳）は、他人の識別符号を使用して、大手航空会社のマイレージポイントを管理するサーバコンピュータに不正にアクセスし、マイレージポイント66万ポイントを自己の管理するポイント口座に移し替えた後、商品を多数購入した。電子計算機使用詐欺罪、私電磁的記録不正作出・同供用罪でも検挙。

（4月・警視庁）

#### 【詐欺】

被疑者（自営業・男・41歳）は、インターネット・カフェの端末を利用して、インターネットのオークションサイトに人気歌手のコンサートチケットを販売するとの嘘の情報を掲載し、落札した者から現金をだまし取った。

（2月・新潟）

#### 【詐欺】

被疑者（会社役員・男・20歳）らは、アダルトゲームに偽装したコンピュータウイルスをファイル共有ソフト上に公開して、ダウンロードした者の個人情報を別のウェブサイト上に掲載し、ゲームソフトの著作権を有するかのよう装って著作権侵害の和解金として現金をだまし取った。

（5月・警視庁）

#### 【詐欺】

被疑者（無職・男・52歳）は、他人の無線LANを無断で使用してインターネットにアクセスし、電子掲示板に銀行口座や偽造身分証を販売するとの情報を掲載し、購入を希望した者から現金をだまし取った。

（6月・福岡）

### 【児童買春・児童ポルノ法違反】

被疑者（無職・男・37歳）は、自己紹介サイトに登録している年齢が若い男性の画像を入手して、他のゲームサイトに登録している女子児童あてに同画像を送信するなどしてその男性になりすまし、同サイトを通じて知り合った女子児童に、携帯電話機でわいせつな姿態を撮影してメール送信することを強要し、携帯電話機付属のカメラにより児童の裸体等の静止画及び動画を撮影させた上、同画像を児童の携帯電話機から添付ファイルとしてメール送信させて、これを被疑者の携帯電話機に保存して児童ポルノを製造した。

（2月・神奈川県）

### 【児童買春・児童ポルノ法違反】

被疑者（大学生・男・19歳）は、インターネットのホームページ上に児童ポルノ画像を投稿し、公然と陳列した。

なお、同投稿は一般ユーザから通報を受けたインターネット・ホットラインセンターからの情報を元に検挙したもので、同種事件で、8都府県が同日一斉検挙（18事件）  
（5月・秋田、警視庁、千葉、大阪、兵庫、岡山、徳島、熊本）

### 【出会い系サイト規制法違反】

被疑者（会社員・男・32歳）は、レンタル掲示板において、公安委員会に届け出ることなく約200サイトの出会い系サイトを開設した。

（5月・警視庁）

### 【著作権法違反】

被疑者（無職・男・37歳）は、人気テレビアニメを、匿名性が高いファイル共有ソフト「perfect dark」を利用して公衆送信し不特定多数の者に閲覧させ、著作権を侵害した。

なお、ファイル共有ソフト「perfect dark」を使用した事件の初の検挙である。

（1月・京都）

### 【著作権法違反】

被疑者（無職・男・62歳）は、米国で公開され3D映画として話題となった映画を、日本での公開前にファイル共有ソフト「share」を利用して公衆送信し不特定多数の者に閲覧させ、著作権を侵害した。

なお、本件は、警察庁が1月から本格運用した「P2P観測システム」を活用した初の検挙である。

（3月・京都）

### 【著作権法違反】

被疑者（会社員・男・43歳）は、ホームページ上にアーティストの画像等を掲載した上、これと連動して、無料のインターネットラジオサービスを利用して楽曲を公衆送信し不特定多数の者に視聴させ、著作権を侵害した。

（5月・群馬）

## 第2 サイバー犯罪等に関する相談状況

都道府県警察のサイバー犯罪相談窓口等に寄せられたサイバー犯罪等に関する相談の受理件数は次のとおり。

### 相談受理件数の推移

区分	年							
	H17	H18	H19	H20	H21	H21 上半期	H22 上半期	増減
詐欺・悪質商法に関する相談 (インターネット・オークション関係を除く)	41,480	21,020	32,824	37,794	40,315	21,733	15,214	-6,519 (-30.0%)
インターネット・オークションに関する相談	17,451	14,905	12,707	8,990	7,859	4,080	3,724	-356 (-8.7%)
名誉毀損、誹謗中傷等に関する相談	5,782	8,037	8,871	11,516	11,557	5,654	5,006	-648 (-11.5%)
迷惑メールに関する相談	3,975	2,930	4,645	6,038	6,538	3,343	4,364	+1,021 (+30.5%)
違法・有害情報に関する相談	5,317	4,335	3,497	4,039	3,785	2,022	2,107	+85 (+4.2%)
不正アクセス、コンピュータ・ウイルスに関する相談	3,965	3,323	3,005	4,522	4,183	1,997	1,897	-100 (-5.0%)
うち不正アクセス	3,694	2,713	2,789	4,320	3,955	1,871	1,737	-134 (-7.2%)
その他	6,203	6,917	7,644	9,095	9,502	4,927	4,869	-58 (-1.2%)
合計	84,173	61,467	73,193	81,994	83,739	43,756	37,181	-6,575 (-15.0%)

